

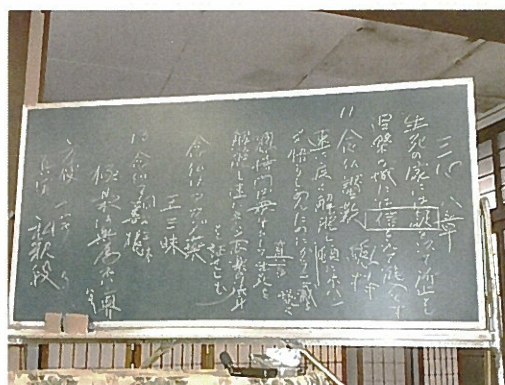
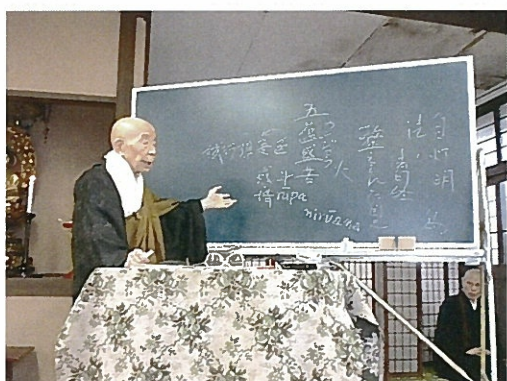
平成29年2月18日（土）の「仏教女性の集い」

少しずつ春の気配を感じつつも三寒四温の日々が続いております。本日も穏やかに「仏教女性の集い」は始まりました。

冒頭、煩惱の苦しみを消す。自らを灯明としなさい。と自灯明・法灯明のお話をして頂き、今日のご法話は2月15日お釈迦様がお亡くなりになられた日、「涅槃会」についてのお話をして頂きました。

苦しみを火に例えられて、燃え盛る感情を打ち消して「灰身滅智^{けしんめち}」身も心も無にして執着を持たない。涅槃の境涯にある自分を持ちなさい。浄土教で「涅槃」の事が書かれた内容は、選択本願念仏集の第八章（三心）第十一章（念仏讚歎）第十三章（念佛多善根）に記載されていると「涅槃」は亡くなられた日とされているだけでなく、悟りの境涯でもあると、南無阿弥陀仏によって一步一步、仏様に近づく生活をしていく事ができます。

お釈迦様はいろいろな苦行をなさり、法然上人も数々のご苦勞の末に、「南無阿弥陀仏」を説いて下さり、悟り、教えをきちんとお膳立てをして下さっている所に素直に乗せて頂いたら良いだけなのに、凡夫な私は迷い・苦しみの中でもがいています。お念仏を喜び、真実の道を一步一步歩む日々を送らせて頂きたいと月に一度振り返りをさせて頂くこの機会を本当に感謝ばかりです。



座談会のお席では、遠方からご参加の尼僧様が、近藤先生のお元気を檀家の方々にお分けしたいと自ら詠まれた80歳・90歳・100歳とお歳を重ねられた思いのお歌を披露して下さいました。



お菓子は紅梅

本日も講義頂きました「涅槃」について私は強い思いがございました。以前、お茶のお稽古の時の事でした。一緒にお稽古をさせて頂いていた尼僧様が、お茶杓のご銘を尋ねられた時『涅槃』と言うご銘を答えておられました。そして「今日は二月十五日お釈迦様が亡くなった日なので、ご銘にこの言葉を使わせて頂こう思った」と話されて、知らずにいた私に、その「涅槃」の補足として、この会でもお茶のお接待をして下さっている先生は、「確かにお釈迦様の命日だけど、私はそうは思っていないよ。人としては亡くなられた日かも知れないけど、お浄土では生まれられた日やから、お釈迦様の涅槃会は誕生日でもあると思っているの」と話されました。涅槃は亡くなられた日だけでなく、今日のお話の中でもあったように、苦しみの火を打ち消して導きの言葉であるという事を拠り所にしたい思いが、また深まりました。
(参加者感想 K. O)



お茶のお接待を受けて和やかなひと時は過ぎて行きました。

次回の「仏教女性の集い」は平成29年3月18日です。

「仏教女性の集い」は毎月第3土曜日、1時～4時

参加費 1,000円 宗教・宗派は問いません。

条件は女性であることだけです。

多数のご参加お待ちしております。

市バス[知恩院前]下車、東へ徒歩 150m

『吉水尼僧庵』(旧尼僧道場跡)で開催致しております。

問い合わせは 隆彦院 075-561-7581 まで



「仏教女性の集い」の様子は浄土宗吉水会のホームページに掲載しております。